

第23回森林は友達！ 作文コンクール受賞者決定！

関東森林管理局東京事務所

令和元年度の「森林は友達！作文コンクール」は、23の学校等（ガールスカウトの団体一つ含む）から1,793名の応募があり、令和2年2月4日に東京事務所で開かれた審査委員会により最優秀賞等の受賞者30名が決定しました。3月6日に都内で表彰式を予定していましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止となりました。

このコンクールは平成9年から開催され関東森林管理局のうち茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、及び静岡県に所在する森林管理署、森林管理事務所及び高尾森林ふれあい推進センターが行った森林教室等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたことを自ら作文にすることによっ

て森林林業に対する理解や関心を高めてもらうことを目的に、「森林作文コンクール実行委員会」（一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成）が毎年行っているコンクールです。

最優秀賞の林野庁長官賞には、八王子市立七国小学校五年生の中野理子さんが受賞しました。「天狗から見た高尾山」と題し、高尾山での宿泊体験学習での活動から学んだことを、天狗の視点に置き換え、的確に表現した作文となっています。そのほか、自分の家が山梨の木で出来ていることを森からのプレゼントだと綴った作文や森林教室で経験した貴重な体験を元に自分が何が出来るか自らの言葉で表している作品などが選ばれました。惜しくも受賞を逃した生徒さん達の作文も、森林で体験し深く感動した事が書かれているのなど甲乙付けがたい作品ばかりでした。

例年表彰式では最優秀賞を取った生徒さん自身で作文の朗読をしてもらうのですが、今年は出来ませんでしたので、その作文をこのHPに載せています。是非ご覧ください。



学校で表彰式をしてもらう中野理子さん。



表彰式参加予定だった各賞を受賞された生徒さんには、賞状や副賞のほか、東京事務所長（次長）作成のツキ板のしおりと「木について」の資料、協賛をしてもらったもりかみ協議会からのカート缶などを郵送し、それぞれの各学校（団体）で祝ってもらいました。令和2年度も募集する予定ですが、次回は表彰式を開催出来るといいなと思っています。

各賞受賞者にお送りした東京事務所長（次長）作成のツキ板のしおりと資料「木について」、参加賞として参加者全員に配った木製温度計